

問題07

システム監査人の独立性が保たれている状況はどれか。

- ア：営業部門の要員を監査チームのメンバに任命し、営業部門における個人情報保護対策についての監査を行わせる。
- イ：監査法人からシステム監査人を採用して内部監査人に位置付け、社内の業務システム開発についての監査を行わせる。
- ウ：システム部門の要員を監査部門に異動させ、システム部門に所属していたときに開発に参加したシステムの保守についての監査を担当させる。
- エ：社内の業務システム運用を委託しているITベンダの監査部門に依頼し、社内の業務システム運用についての外部監査を担当させる。

答え：

解説

▶ クリックして解説を見る

システム監査人は、総合的に情報システムを評価し、助言・勧告・改善活動のフォローアップなどを行うという**監査活動の特性上、客観的な判断**をするために**被監査部門と身体的・精神的に独立**していることが求められます。

- ア：営業部門の要員を監査チームのメンバに任命し、営業部門における個人情報保護対策についての監査を行わせる。
 - 監査人自身が所属する部門の監査を行うことになるので不適切
- イ：監査法人からシステム監査人を採用して内部監査人に位置付け、社内の業務システム開発についての監査を行わせる。
 - 社外の監査法人に所属する監査人は監査対象の情報システムから**身分および精神上独立した立場**なので**正解**
- ウ：システム部門の要員を監査部門に異動させ、システム部門に所属していたときに開発に参加したシステムの保守についての監査を担当させる。
 - 監査人自身が開発に携わったシステムを監査することになるので不適切
- エ：社内の業務システム運用を委託しているITベンダの監査部門に依頼し、社内の業務システム運用についての外部監査を担当させる。
 - 自身が運用業務を担当するシステムを監査することになるので不適切

答えはイ